

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：女性保護費 目：女性保護費

事業名【新】困難な問題を抱える女性支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課 家庭支援係 電話番号：058-272-1111(内3556)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,263 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,263	0	0	0	0	0	0	0	3,263
決定額	3,263	0	0	0	0	0	0	0	3,263

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・近年、女性の抱える問題は、生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化しており、コロナ禍によりこうした課題が顕在化した。
- ・こうした中、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立し、民間団体と協働し、女性の意思を尊重しながら、置かれた状況に応じた、きめ細かで支援対象者に寄り添った支援が求められている。

(2) 事業内容

- ・現在、女性相談ダイヤルは、DV相談ダイヤルと兼用となっているが、新たにDV相談専門ダイヤルを設けることで、男女とも相談の対象となるDV、困難な問題を抱える女性それぞれの相談者の立場に沿った相談体制を構築し、支援を必要としている方への支援につなげる。
- ・通訳を委託し、外国人の方が相談しやすい体制を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10 / 10

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	538	リーフレット、カードの作成
委託料	330	通訳委託料
備品購入費	2,190	電話相談室の設置
工事請負費	205	電話機増設工事費
合計	3,263	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画（第4次）

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 女性相談支援センターは県が所管している施設であり、県実施が妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

DV相談ダイヤルと女性相談ダイヤルを分離することにより、DV、困難な問題を抱える女性それぞれの相談者の立場に沿った相談体制を構築し、適切な支援を実施していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

適切な支援につなげることを目的とするが、相談件数や支援件数を伸ばすこと自体が目的ではないため指標設定は馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和3年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	支援対象者が相談しやすい電話相談体制の拡充・強化は必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	遮音性の高いブースを設置し、オンライン面談にも対応できるようにすることにより、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 相談・支援には専門的知識やノウハウが必要であり、的確な対応が求められる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 保護や支援が必要な方への適切な支援につなげるため、今後も引き続き事業継続の必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】